

能登半島地震における のとじま悠々ホームの被災状況及び対応状況

～2024年1月1日被災から2024年12月現在までの備忘録～

【能登半島地震】

2024年（令和6年）1月1日16時10分に発生した内陸地殻内地震。地震規模M7.6。

輪島、志賀町で最大震度7を観測。能登島地区や石崎地区は震度6強。

PROFILE

Ikezaki Taro

池崎 太郎



特別養護老人ホーム のとじま悠々ホーム 施設長

医療法人社団和泉会及び社会福祉法人石龍会 専務理事 | ISO9001管理責任者

2005年4月 のとじま悠々ホームの開設に伴い事務長就任。法人事務局長を経て
2012年に専務理事就任し、2023年9月よりのとじま悠々ホームの施設長を拝命する。

1968年 生まれ。

1993年 工学系大学院を修了し、メーカーで機械系設計・開発業務を経験。

2001年 IT系企業に転職しプログラマーとして勤務。

2004年 医療法人社団和泉会 さはらファミリークリニックの開業に伴い、
当グループのシステムサポート室に招聘され着任する。

法人紹介

<さはらグループ>

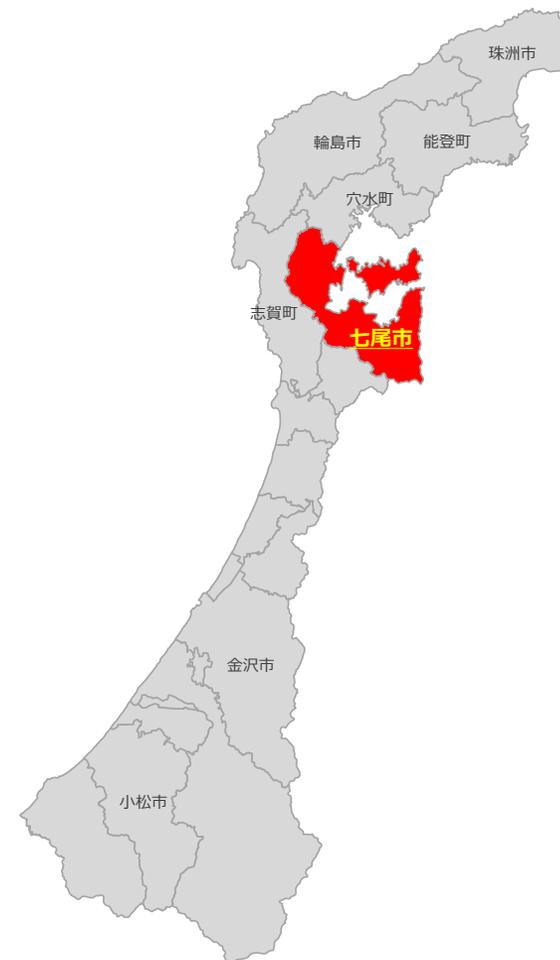
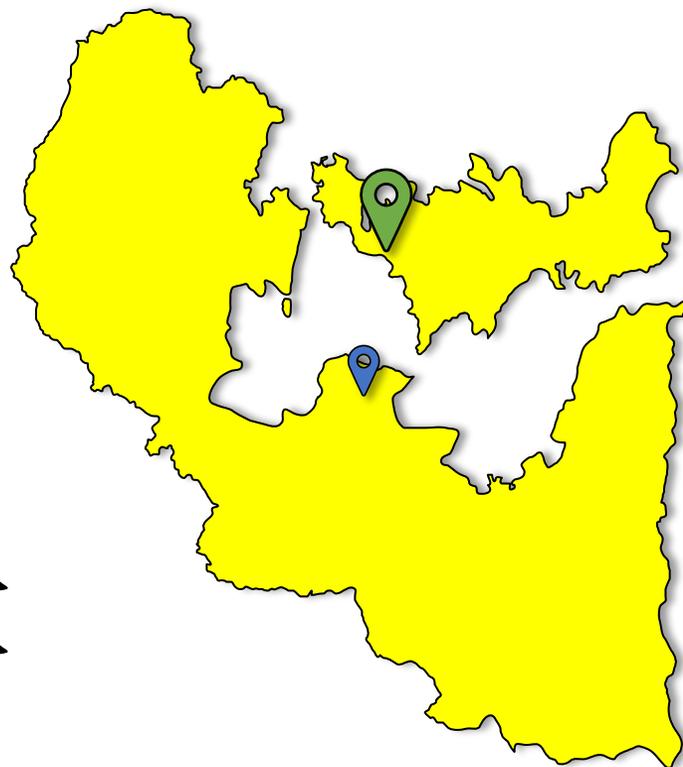
📍 医療法人社団 和泉会 | 設立 1975年10月

📍 社会福祉法人 石龍会 | 設立 2000年 7月

七尾市

<2024/12/31現在>

人口	46,488人
高齢者人口	18,685人
高齢化率	40.2%



事業所紹介

特別養護老人ホーム のとじま悠々ホーム

開設：2005年4月1日

施設：ユニット型介護老人福祉施設
(6ユニット)

定員：特養57床 / ショートステイ3床



◇ 報告内容

1. 被災から現時点までの「のとじま悠々ホーム」の体制の推移
2. 被災当時の「のとじま悠々ホーム」と周辺地域の被害状況
3. 「のとじま悠々ホーム」の復旧状況

被災状況・対応状況

1. 被災から現時点までの「のとじま悠々ホーム」の体制の推移

能登半島地震～現在までの体制変化

区分 Step	1/1	1/3	1/4	1/11	1/15	2/1	2/6	2/28	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1
能登半島地震発生	×																	
Step0：BCP発動 緊急避難体制 ライフラインストップ期																		
Step1：緊急避難生活期 電気・ガス復旧・生活用水復旧期																		
Step2：被災生活期 人命安全確保期																		
クラスター発生 対応期																		
Step3：重要業務継続期																		
Step4：復旧対応期 (～50床期)																		
Step5：復旧期 (60床展開期)																		

能登半島地震発生時の状況 Step:0

・2024年1月1日状況

- ・入居者数（在室者）： 53名（51名）
- ・ユニット数： 6ユニット
- ・入居率： 53/57 ⇒ 93%

勤務スタッフ人数	発災時（休日体制）	（平日体制）
介護スタッフ	13名	15名
看護スタッフ	2名	3名
事務（生活相談員）	1名	5名（4-6名）
外部委託事業者	1名	1名
計	17名	24名前後

- ・夜勤者： 1名出勤（22時）
2名は橋通行止めで出勤出来ず
- ・BCP臨時責任者： 20時到着（デイサービスセンター長）

能登半島地震発生時の状況 Step:0

- 16:06 前震 (M5.5) 震度5強の揺れが観測される
 - 入居者様安否確認： 異常ないことを確認
 - エレベーター異常確認： 異常なし
 - 厨房確認： 異常なし
- 16:10 本震 (M7.6) 最大震度7の地震発生
 - 全館停電
 - 入居者様安否確認： ケガ人なし
 - 施設各部破損のため避難行動開始：
 - 車いす移譲
 - 茜雲ユニット⇒白鷺ユニットへ避難
 - 朝凧ユニット⇒里山ユニットへ避難
 - 緊急避難体制開始
- 16:21 施設長連絡、BCP発動

対策本部

【規定ルール】

- 対策本部長： 理事長 | 代行 専務理事
- 事務局長： 専務理事 | 代行 各施設長
- 事務局メンバー： 施設長、事務長、部長
- 代行者： 主任以上の役職者（主任・課長）



【被災時の実績】 のとじま悠々ホームの場合

- 対策本部長： 専務理事
- 事務局長： 施設長（兼務）
- 事務局メンバー： 副施設長、事務長、看護部長
- 代行者： 主任3名（ケアマネ・生活相談員・看護師）

- 被害甚大の場合
 - 入所系施設のBCPを優先とする
 - 能登島へ渡る橋が閉鎖される可能性大きい
 - 島内在住の職員は、和泉会、石龍会関わらず特養およびケアハウスを支援する
- 災害時責任者の代行
 - 責任者が駆け付けられない場合、のとじまデイサービスセンターセンター長（島内在住）が責任者となり、緊急時対応を取り仕切る
- 実績
 - 1/1 センター長がのとじま悠々ホームへ駆けつけて対応
 - のとじまデイサービスセンターの被害状況確認
 - 島内別法人グループホームの受入れ対応
 - 20時頃からのとじま悠々ホーム対応

- 対策本部長代行： 被災当時、鹿児島に帰省中

- 1月1日 職員（BCP策定メンバー）より連絡あり。
初期対応指示を行う。

（携帯電話⇒ビデオ通話に切替、状況みながら指示）

以降、夜中まで電話とチャットツールで対応。

- 1月2日 電話、チャットツールで情報交換・指示

5時過ぎに鹿児島出発⇒13時頃大阪⇒17時過ぎ金沢

22時過ぎ七尾へ到着

- 1月3日 のとじま悠々ホームで直接指揮開始

能登半島地震発生時の状況 Step:0

【1月1日 16:10以降】

- 停電：×照明 ×エレベーター ×エアコン
- 電話：電話交換機故障により、一般電話不通⇒携帯電話のみ
- インターネット：使用可能
- ガス：×空調設備 ×厨房（調理できず）
- 道路：能登島大橋、ツイングブリッジ通行止め **※島内孤立**

【1月2日】

- 停電継続 ・普通電話使用不可 ・空調設備× ・EV×
- 断水確認（貯水タンク空になる | 非常用電源故障、配管断裂）
- 昼頃：能登島大橋通行再開⇒出勤可能スタッフ出勤開始

【1月3日】

- 状況変化なし（寒い・暗い・食事を摂らなくなる）
- 20時頃：**停電復旧**⇒居室エアコン稼働・照明点灯・館内空調×

能登半島地震発生時の状況 Step: I

【1月4日～1月14日】

＜緊急避難生活期＞

- 1/4 ガス復旧・電話復旧・エレベーター復旧
 - ・ガス復旧により、全館暖房機器が稼働
- 災害支援物資、購入した離乳食等で入居者様食事対応
- 職員の勤務体制変更
 - ・日勤：8時間/夜勤16時間の2交代制 夜勤は8人体制
 - ・夜勤：介護スタッフ6人+看護師1人+事務1人
- ひだまりの樹、のとじまデイのスタッフによる支援体制開始
- 1/11 秋田の震災支援チームによる支援開始（～1/13）
- 1月13日付でご家族宛文書発行（第1報）

能登半島地震発生時の状況 Step:2

【1月15日～2月6日】

＜被災生活 | 人命安全確保期＞

- 1/11 朝凧ユニット閉鎖
- 1/11 全入居者個室対応へ戻る（5ユニット体制移行）
- 1/15 夜間宿直再開。完全5ユニット体制へ移行
 - 夜間スタッフ： 介護スタッフ5名体制
 - 看護・事務スタッフは夜間自宅待機
 - 2交代制継続（日勤：8時～17時 | 夜勤：16時～9時）
 - 入浴支援、食事介助支援にのとじまデイ、ひだまりの樹スタッフ対応
- 2/1 レクリエーション、リハビリ再開
- 2/1 のとじまデイ、ひだまりの樹の小規模運営開始（1階フロア）

能登半島地震発生時の状況 Step:3

【3月1日～3月31日】

＜重要業務継続期＞

- 業務の通常化に向けて、慎重に対応
- 食事・入浴・個別リハを重点的に実施
- 勤務体制の変更
 - 2交代を3交代とする
 - 日勤（早出）：8時～17時 • 日勤（遅出）：9時～18時
 - 夜勤：16時～翌9時
 - 夜勤体制： 5名体制から4名体制（1階・2階フロアに2名ずつ）
- ご家族宛文書（第4報）を3/1付で発信
- 3/5 ご家族の面会を再開

能登半島地震発生時の状況 Step:4

【4月1日～10月31日】

<復旧対応期 Vol.1>

- 業務の通常化（「いつもの暮らし」）に向けて、復旧活動開始
- 5ユニット体制継続
 - 3月途中より朝凧ユニットの緊急修繕工事開始
 - 以降、順次ユニット修繕を実施し、6ユニット体制へ
- 勤務体制の通常化（5ユニット変則体制）
 - 早番 07:15～16:15 ・ 遅番 10:30～19:30 ・ 超遅番 13:00～22:00
 - 夜勤 22:00～08:00（3人体制）
- 食事、入浴、リハビリ等震災前の体制に戻す
- 5/1付 のとじまデイサービスセンター休止
 - デイサービスセンターから悠々ホーム、ビハーラの里に職員異動

能登半島地震発生時の状況 Step:5

【11月1日～】

<復旧対応期 Vol.2>

- 業務の通常化（「いつもの暮らし」）に向けて、復旧活動開始
- 6ユニット体制へ
 - 10月末でユニットの緊急修繕工事終了
 - 6ユニットの使用再開
- 勤務体制（震災前体制へ）
 - 早番 7:15～16:15 • 遅番 10:30～19:30 • 超遅番 13:00～22:00
 - 夜勤 22:00～8:00（3人体制）

介護現場の勤務人数推移一覧

	1月1日	1月2-3日	1月4日	1月15日	3月1日	4月1日	11月1日
07:15	早番 6名	1/2				早番 6名	早番 6名
07:30		5名出勤					
08:00		0名帰宅	日勤 6名 +支援	日勤 6名 +支援	日勤 5名		
09:00					日勤 5名		
10:30	遅番 4名	1/3				遅番 6名	遅番 6名
		9名出勤					
13:00	超遅 3名	18名帰宅				超遅 3名	超遅 3名
16:00			(16時間) 夜勤 8名	(16時間) 夜勤 5名	(16時間) 夜勤 4名		
17:00							
19:30							
22:00	夜勤 1名					(8時間) 夜勤 3名	(8時間) 夜勤 3名
運用ユニット	3ユニット	3ユニット	4ユニット	5ユニット	5ユニット	5ユニット	6ユニット
介護スタッフ数	13名	1名	14+支援	11+支援	14名	18名	18名

被害状況

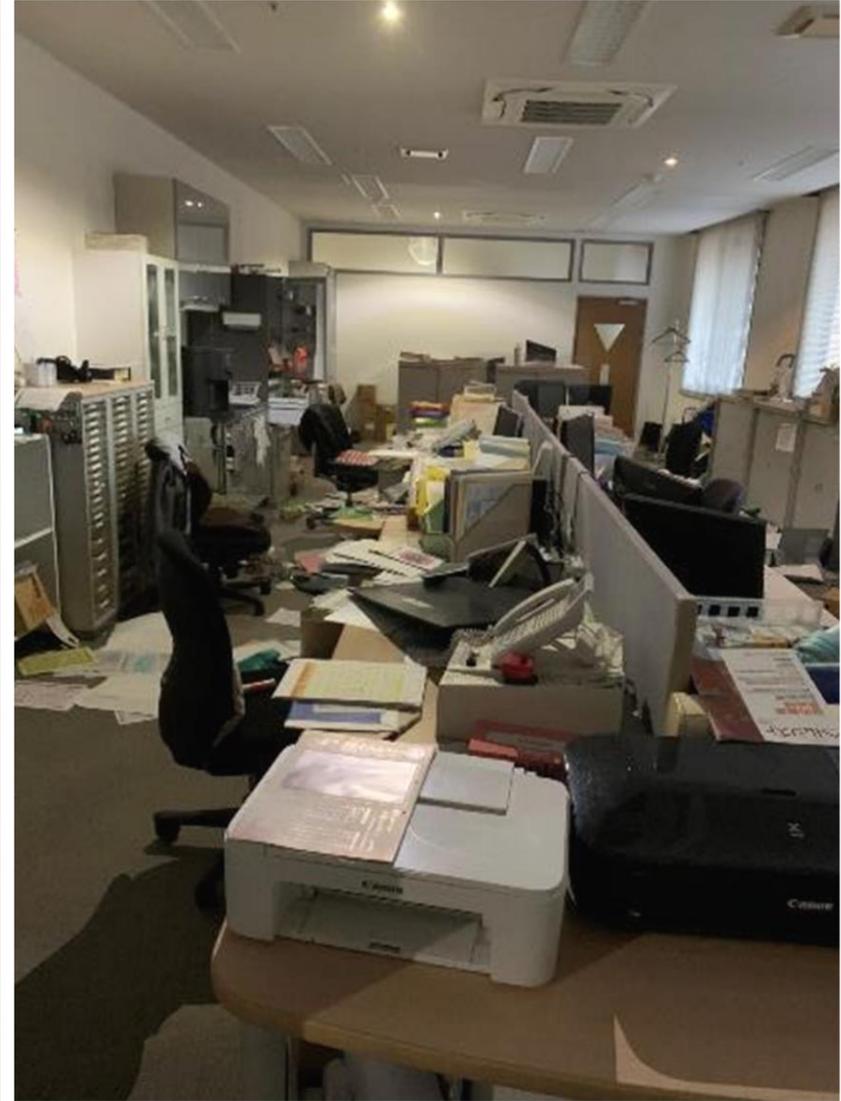
2. 被災当時の「のとじま悠々ホーム」と周辺地域の被害状況

被害状況

震災直後（2024年1月1日-2日）



1階事務所横通路 天井崩落



1階事務所

被害状況

震災直後（2024年1月1日-2日）



瓦屋根破損 1



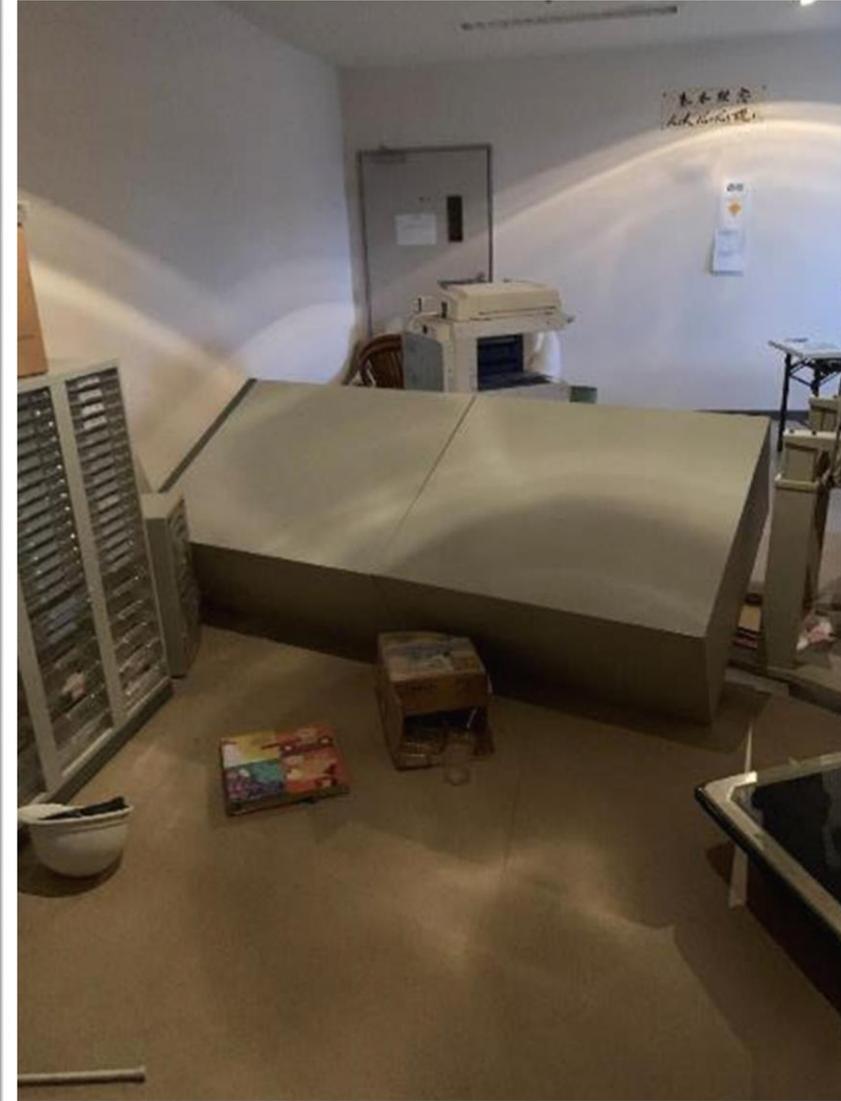
瓦屋根破損 2

被害状況

震災直後（2024年1月1日-2日）



2階ユニットキッチン



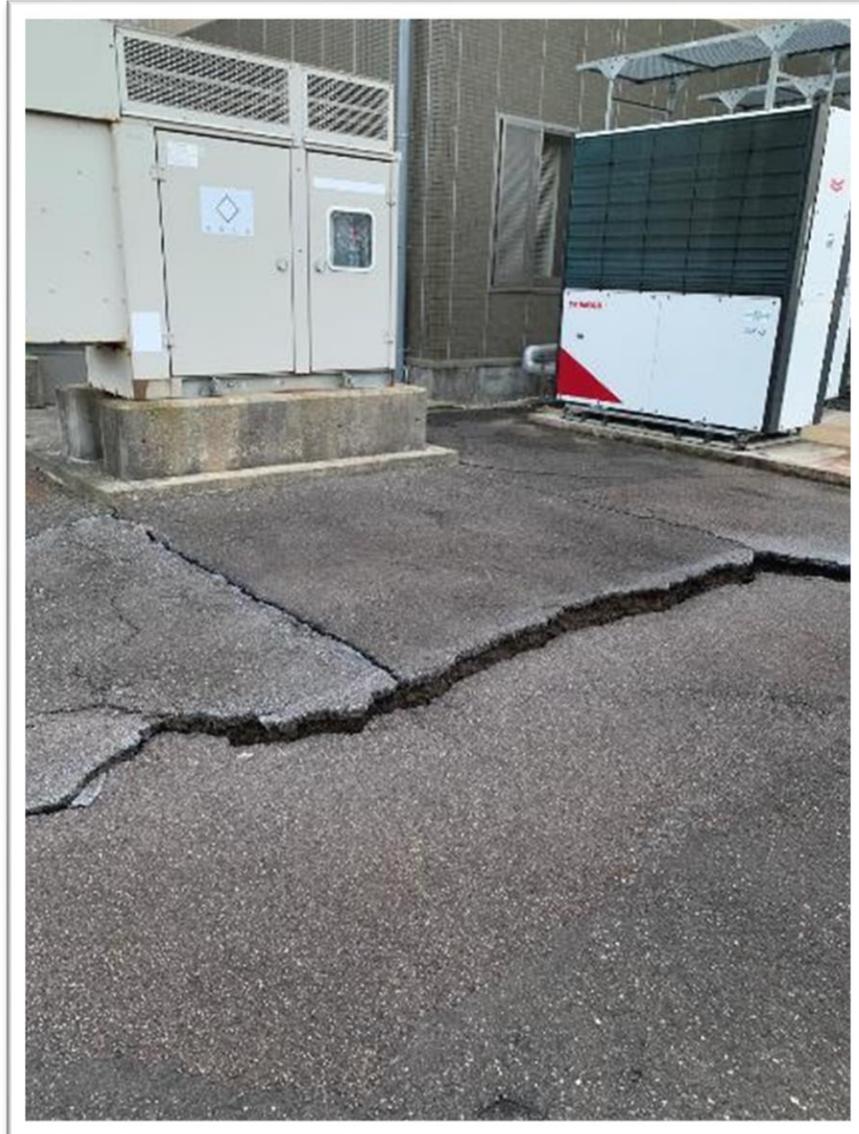
2階 スタッフ室

被害状況

震災直後（2024年1月1日-2日）



機械室横壁面崩落



施設裏側 地盤沈下

被害状況

ユニット・居室

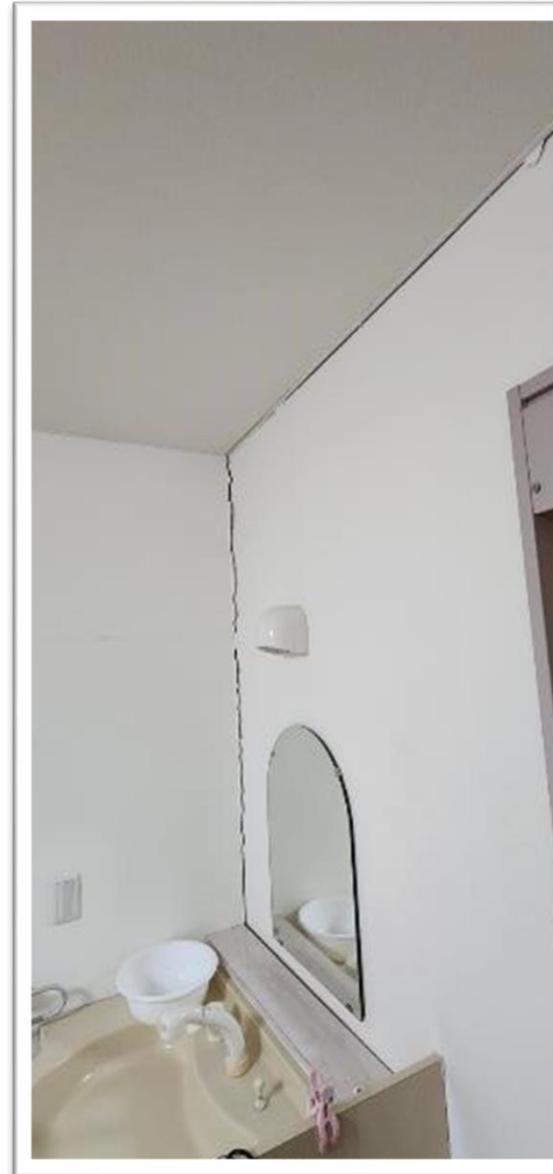
居室壁面

接合部が裂け、隣室が見えている



居室壁面

壁・天井接合部亀裂



被害状況

Step.0-1時期 のユニット



被害状況

浴室



被害状況

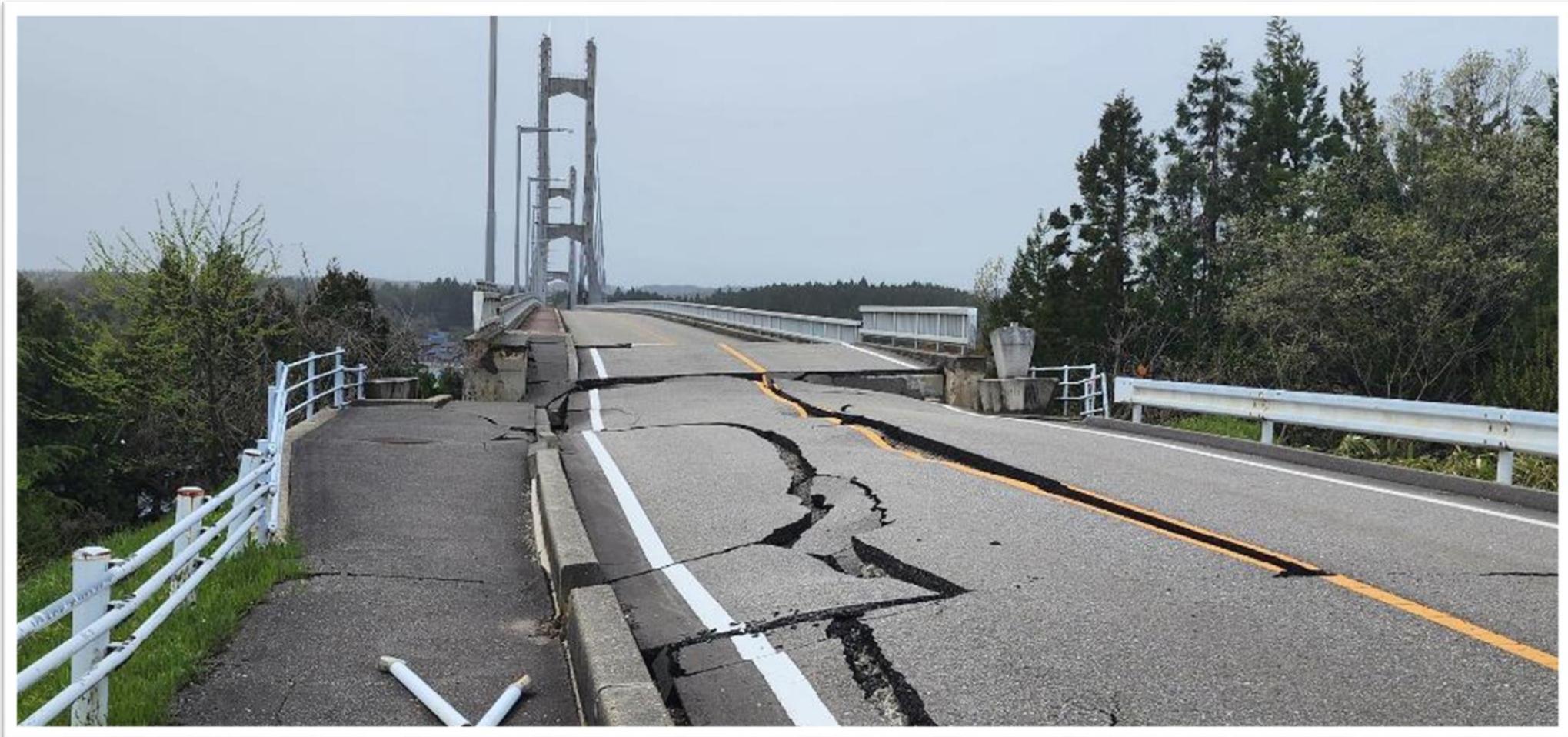
周辺地域



● のとじま悠々ホーム

被害状況

周辺地域



のとじま悠々ホーム

復旧状況

3. 「のとじま悠々ホーム」の復旧状況

入居者数・職員数

・2025年1月1日状況

- ・入居者数（在室数）： 47名（45名） + ショート利用者：2名
- ・入居率： 57床換算：82.5% | 47床換算：100%
- ・ユニット数： 5ユニット⇒6ユニット移行完了

勤務スタッフ人数	（震災同時刻換算）	発災時（再掲）
介護スタッフ	15名	13名
看護スタッフ	2名	2名
事務（生活相談員）	1名	1名
外部委託事業者	1名	1名
計	19名	17名

- ・職員数：52名（震災前：44名）
- ・震災後の新規雇用：7名（内介護6名（実習生3名+特定1名、パート1名））
- ・震災後の異動：8名（内介護4名）
- ・震災後の退職：5名（内震災理由：3名）

グループ被害事業所状況

・医療法人社団 和泉会

- ・さはらファミリークリニック： **準半壊**
(在宅支援サービスステーションさはら、訪問リハビリテーション含む)
- ・デイケアセンターひだまりの樹： **大規模半壊** のとじまデイにて再開
- ・ヘルパーステーションさはら： **大規模半壊** クリニックへ事務所移動

・社会福祉法人 石龍会

- ・のとじま悠々ホーム： **一部損壊（再申請中）**
- ・ケアハウス ビハーラの里： **半壊**
- ・のとじまデイサービスセンター： **事業休止（2024/5/1～）**

- ※ 2/1-5/17 デイサービス・デイケア事業 のとじま悠々ホームで小規模運営
- ※ 5/20より のとじまデイサービスセンターにて「デイケア事業」を再開

完